

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん なごやふいはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.nagoya-phil.or.jp/">https://www.nagoya-phil.or.jp/</a>
代表者職・氏名	理事長 犬塚 力	
制作団体所在地	〒 460-0022 最寄り駅(バス停) 金山駅 愛知県名古屋市中区金山1-4-10 名古屋市音楽プラザ4F	
電話番号	052-322-2774	
ふりがな 公演団体名	なごやふいはーもにーこうきょうがくだん 名古屋フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.nagoya-phil.or.jp/">https://www.nagoya-phil.or.jp/</a>
代表者職・氏名	理事長 犬塚 力	
公演団体所在地	〒 460-0022 最寄り駅(バス停) 金山駅 愛知県名古屋市中区金山1-4-10 名古屋市音楽プラザ4F	
制作団体 設立年月	昭和41年(1966)年7月	
制作団体組織	役職員 理事長 犬塚力 副理事長 松雄俊憲、佐々木菜々子 専務理事 月東靖詞 常務理事 長谷川いづみ ほか顧問4名、理事14名、監事2名、 評議員20名、諮問委員30名、参与15名	団体構成員及び加入条件等 (1)団体構成員 指揮者5名、コンサートマスター5名、 コンポーザー・イン・レジデンス1名、楽員66名、 事務局員16名 (2)加入条件 楽員は一般公募オーディションにより採用
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名 演奏事業部 友澤麻里奈
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 演奏事業部課長 岩澤陽介
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:tomozawam@nagoya-phil.or.jp">tomozawam@nagoya-phil.or.jp</a>	

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>昭和41(1966)年 結成  昭和46(1971)年 音楽総監督に岩城宏之、常任指揮者に福村芳一就任  昭和48(1973)年 名古屋市の出捐により財団法人化  昭和49(1974)年 音楽総監督に森正、常任指揮者に荒谷俊治就任  昭和56(1981)年 音楽総監督兼常任指揮者に外山雄三就任  昭和62(1987)年 常任指揮者にモーシェ・アツモン就任  昭和63(1988)年 ヨーロッパ2ヶ国ツアー実施、「パリ夏のフェスティバル」参加  平成05(1993)年 常任指揮者に飯守泰次郎就任  平成10(1998)年 音楽総監督に小林研一郎就任、アジア8ヶ国ツアー実施  平成15(2003)年 常任指揮者に沼尻竜典就任  平成16(2004)年 ヨーロッパ3ヶ国ツアー実施、「ブラハの春」国際音楽祭参加  平成18(2006)年 アジア7ヶ国ツアー実施、定期演奏会2公演化  平成20(2008)年 常任指揮者にティエリー・フィッシャー就任  平成24(2012)年 愛知県より認定を受け公益財団法人化  平成25(2013)年 常任指揮者にマーティン・ブラビンス就任  平成28(2016)年 音楽監督に小泉和裕就任、創立50周年記念事業実施  令和05(2023)年 音楽監督に川瀬賢太郎就任</p>		
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>令和4年度(2022-23)  ▶名古屋市内私立高等学校全校生徒約1,700人を対象とした芸術鑑賞会／1公演  ▶豊田市内中学3年生(約4,000人)を対象としたコンサート／5公演  ▶名フィル楽員がやってきた！(名古屋市内小・中学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／3校  ▶出会いの教室(東海市内の小学4年生を対象としたアウトリーチ活動)／13校40回実施  ▶豊田市アウトリーチ事業(豊田市内の小学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／1校  ▶東海市内小学5年生、中学2年生(約2,400人)を対象とした芸術鑑賞会／4公演</p> <p>令和5年度(2023-24)※10月3日時点  ▶名古屋市内小学校移動音楽鑑賞教室／1公演(体育館開催)  ▶豊田市内中学3年生(約4,000人)を対象としたコンサート／5公演  ▶出会いの教室(東海市内の小学4年生を対象としたアウトリーチ活動)／13校38回実施  ▶名フィル楽員がやってきた！(名古屋市内小・中学校に楽員を派遣するアウトリーチ活動)／1校</p>		
<p><b>特別支援学校等における 公演実績</b></p>	<p>平成25年度(2013-14)  ▶「次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)」において、  滋賀県立八日市養護学校にて公演／1公演</p> <p>令和元年度(2019-20)  ▶「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」において、  三重県立盲学校にて公演／1公演</p> <p>令和3年度(2019-20)  ▶「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」において、  山口県立田布施総合支援学校にて公演／2公演 ※WSのみ実施  山口県立宇部総合支援学校にて公演／2公演  ※上記2校は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が困難であったため中止</p> <p>平成11年度(1999-2000)より毎年度  ▶「夢いっぱいの特等席」福祉コンサートを実施  ※障がいのある方々を対象に、様々に会場の環境整備を行なった“特等席”コンサートで、これまでに愛知・岐阜県下で80公演を開催。各地域の障がいのある方々の施設・団体や、特別支援学校に通う方々から好評を得ている</p>		
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	



本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00~11:00	13:30~15:00	10分	15:00~16:30	16時30分

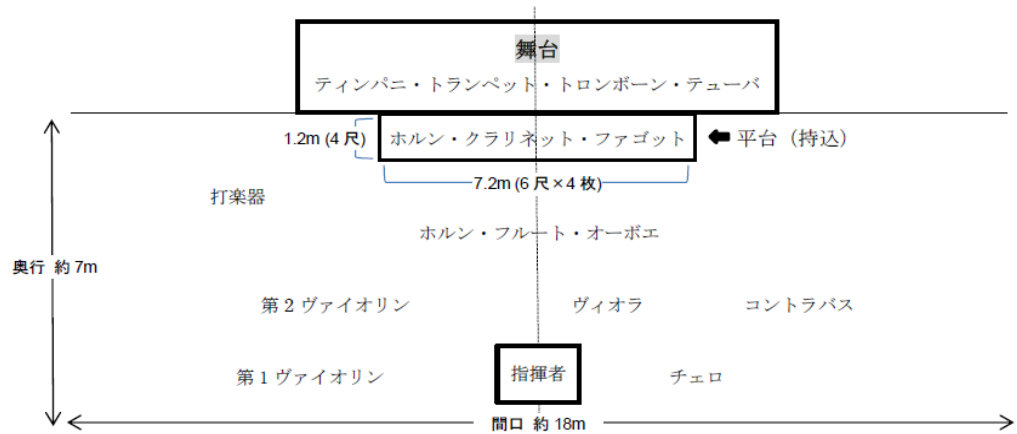
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	7日	3日		5日	1日	
	11月	12月	1月	計	16日	

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	会場収容人数内であれば制限なし
		鑑賞人数目安	会場収容人数内であれば制限なし

(図1)公演舞台配置図



※オーケストラと客席の間は、3m 以上空けてください

客席

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



(図2) 実際の公演の様子  
《木星》



(図3) 実際の公演の様子  
《ハンガリー舞曲(指揮者体験)》



(図4) 実際の公演の様子  
《シャンパンの歌》



(図5) 実際の公演の様子  
《天国と地獄(ボディ・パーカッション)》

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	会場収容人数内であれば制限なし
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>標準:90分(45分×2公演)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>1. 指導者と補助者によるミニ・コンサート</b> 楽員を中心とした弦・管・打楽器奏者、歌手、ピアニスト等を派遣。オペラ歌手の歌声や楽器の音色を生で体感してもらい、コンサートへの興味喚起を促します。</li> <li><b>2. 楽器構成や歴史、本公演の演奏曲目紹介などを含めたオーケストラ講座</b> オーケストラの歴史と楽器構成、本公演のプログラムを、イラストを用いたオリジナル資料や演奏音源、実演をもとに、分かりやすく解説。演奏会に出かけたことのない子供たちにも、拍手の仕方から鑑賞マナーを解説しつつ、決して敷居の高いものではなく、リラックスして楽しめるものだと説明します。</li> <li><b>3. 歌唱指導</b> 本公演で共演する合唱曲について、発声やオーケストラと合わせるためのポイントを指導します。</li> <li><b>4. &lt;小学生・中学生対象&gt;ボディ・パーカッション指導(中学生は選択)</b> 《天国と地獄》、《カルメン》のボディ・パーカッション指導では、実演に合わせて叩き方のポイントを説明します。</li> <li><b>5. &lt;中学生対象&gt;吹奏楽部合奏指導(中学生は選択)</b> プロの演奏者から、オーケストラと合奏する際の心構えをはじめ、普段の部活では体験できない、より一歩踏み込んだ音楽的な指導を実施します。</li> <li><b>6. 質問コーナー</b> 音楽に対する姿勢や楽器ごとの苦労話など、なかなか聞くことのできない質問を、プロの演奏家が直接受け付けます。</li> </ol>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>本公演前の事前ワークショップは学校とオーケストラを結ぶ最初の接点であり、内容については下記3点を重視し、指導者にも徹底しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童・生徒が音楽に興味を抱き、本公演への期待を高める内容であること</li> <li>2. 児童・生徒参加型企画の音楽的完成度を高められる内容であること</li> <li>3. オーケストラとの共演という貴重な機会を活かし、児童・生徒自身が自発的にコンサートに参加したくなる環境づくりができること</li> </ol> <p>一度しかない本公演において、公演内容や児童・生徒との共演をより効果的なものにするため、プロの演奏家が実演を含めて指導を行います。机上や映像では学べない充実した内容で、より本公演への期待を高めます。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>★ボディ・パーカッションの楽譜は事前に学校へお送りしますので、学校の授業等で練習をお願いいたします。 ★児童・生徒の並び方は学校の要望に応じます。</p> <div data-bbox="1018 1615 1430 1879" data-label="Image"> </div> <p>(図6)ワークショップの様子</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b>          交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与することを目的とする。前条の目的を達成するため、青少年の音楽鑑賞の指導及び普及事業を行う。          (名古屋フィルハーモニー交響楽団 定款 第2章第3,4条より)</p> <p>上記の通り、青少年への音楽鑑賞事業は名古屋フィルハーモニー交響楽団の存在意義でもあります。オーケストラによる上質な音楽を、多感な青少年の時期に提供することにより、その後の人生が豊かなものになることを願うとともに、未来を担う子供たちには社会におけるオーケストラの必要性を理解し、末永く愛してもらいたいと考えています。</p> <p>平成25年度からの本事業では、11年連続で105校以上を巡回しております。学校の先生方からは「本物の音楽を聴いたことをきっかけに歌声の響く学校になった」、「学校で音楽の話題が増えた」、「音楽は人の心を動かす力があると改めて感じる事ができた」、など嬉しい声が届いているほか、子供たちからも「クラシックって本当におもしろいなと思った」、「音楽でみんなの心が一つになった」、「楽器を始めてみたい」など多くの感想を頂き、間近で体感するオーケストラの音圧・迫力に感動し、目を輝かせる子供の姿も見受けられました。普段オーケストラに気軽に接することができない子供たちに、その子供たちのホームグラウンドである学校・体育館で、生の管弦楽をお聴かせすることができることに、大きな意義を感じています。</p> <p>今回提案しているプログラムについては、前年度に実施した際に学校の生徒や先生、演奏者からも好評であったプログラムを採用しています。本格的な演奏の鑑賞はもちろん、共演・参加型のプログラムを組み込むほか、名フィル独自のナレーション付きの楽曲を用いた楽器紹介や分かりやすい解説等を入れるなど、テーマでもある「クラシックって、でら面白い！」と感じられるよう選考を重ねたものです。合唱共演では小学校・中学校でそれぞれ定番の合唱曲を6曲の中から学校に選択してもらいます。共演の前にはプロのオペラ歌手として活躍する歌手から歌う際のポイント指導を行うなど、豪華オーケストラ伴奏に合わせて一緒に歌う楽しさを味わってもらいます。またもう一つの共演プログラムとして、小学生は全校児童を対象にしたボディ・パーカッション、中学生では全校生徒を対象にしたボディ・パーカッション、もしくは吹奏楽部との共演を選択式で取り入れています。ボディ・パーカッションでは名フィルのオリジナルの振り付けを用いてオーケストラの演奏に参加してもらいます。また吹奏楽の共演では、学校側が指定する吹奏楽曲に弦楽器を加える形で編曲を行なうなど、各学校のレベルに合わせた共演できるよう配慮した上でオーケストラと共演します。“共演・参加型”にすることで、オーケストラと一緒にコンサートを創り上げる楽しさ、喜びを感じてもらい、本公演を通してオーケストラやクラシック音楽がより身近な存在であることを伝えられるプログラムを提供します。</p> <p>いずれも本事業の主旨にある「芸術性に富むもの」「児童・生徒が興味をもって鑑賞できるもの」「教育的効果が高いもの」、このすべてを満たすことのできるプログラムであると、自信をもっています。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b>          当然ながらオーケストラの公演に慣れていない学校の体育館で行なわれるコンサートであり、受け入れ側の担当教員も実施に際し不安を感じる点が多々あると考えられます。それらを解消すべく、下記事項を実施します。</p> <p>★学校との密接なコミュニケーションの重視</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受け入れ決定から本公演実施まで、スケジュール概要を作成</li> <li>2. 概要をもとに、いつ、何が必要かを各学校に説明</li> <li>3. 概要には担当スタッフの連絡先、特にメールアドレスや携帯番号も記載</li> <li>4. 質問へは的確・迅速な回答を意識し「要望が言いやすい環境づくり」を実施</li> </ol> <p>平成26年度から上記4事項を重点的に実施していますが、会場に関する質問(体育館ではなく別の会場で実施したい等)や、公演に関する質問(共演時に学校所有のプラットフォーム等)など、担当教員からの連絡が増えていると感じており、「要望が言いやすい環境づくり」が功を奏していると認識しています。</p> <p>学校側の要望に最大限配慮し、期待に応えた公演の実現と成功に向け、令和6年度以降も継続して実施していきたいと考えています。</p>
--	--

リンク先	No.2	【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団】
本公演演目	<p>【コンサートの幕開け！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. モーツァルト:歌劇『フィガロの結婚』序曲</li> <li>2. デンツァ:フニクリ・フニクラ ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>【みんな知ってた？オーケストラを徹底解剖】(楽器紹介コーナー)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. カジノユキ[編]:オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」 ※ソリストによるナレーション</li> </ol> <p>【オーケストラと共演しよう！】(共演コーナー)</p> <p>～小学生対象～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. [合唱共演]※①～⑥から選択 <ol style="list-style-type: none"> <li>①杉本竜一:BELIEVE</li> <li>②村井邦彦:翼をください</li> <li>③中川ひろたか:世界中のこどもたちが</li> <li>④杉本竜一:Tomorrow</li> <li>⑤平吉毅州:気球に乗ってどこまでも</li> <li>⑥橋本祥路:夢の世界を</li> </ol> </li> <li>5. [ボディ・パーカッション共演] <p>オッフエンバック:喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」</p> </li> </ol> <p>～中学生対象～※5a,5bどちらか選択</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. [合唱共演]※①～⑥から選択 <ol style="list-style-type: none"> <li>①杉本竜一:BELIEVE</li> <li>②村井邦彦:翼をください</li> <li>③三木たかし:心の瞳</li> <li>④ミマス:COSMOS</li> <li>⑤橋本祥路:カリブ夢の旅</li> <li>⑥成田為三:浜辺の歌</li> </ol> </li> <li>5a. [ボディ・パーカッション共演] <p>ビゼー:歌劇『カルメン』より「アラゴネーズ」</p> </li> <li>5b. [吹奏楽部との共演] <p>例)エルガー/威風堂々などクラシックの名曲のほか、吹奏楽曲での共演も可能 ※共演曲の曲目は、学校のリクエストに応じて決定</p> </li> </ol> <p>【歌と楽器 力を合わせて♪】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇『こうもり』より「シャンパンの歌」 ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>《休憩》 ※休憩の有無はご希望に応じます</p> <p>【後半も飛ばしていくよ！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. カプア:オ・ソーレ・ミーオ ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>【マエストロは君だ！指揮者体験コーナー】(指揮者体験コーナー)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. プラームス:ハンガリー舞曲第5番</li> </ol> <p>【夢の世界へ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. ハーライン:星に願いを(映画『ピノキオ』より)</li> </ol> <p>【オーケストラって、でら面白い！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>10. Jos.シュトラウス:ボルカ『憂いもなく』</li> </ol> <p>【俺たちの合唱祭】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 東海林修:怪獣のバラード ※ソリストによる歌唱</li> </ol> <p>【クライマックス！音楽はついに国境を越え宇宙へ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. ホルスト:組曲『惑星』より「木星」</li> </ol> <p>【名フィル流サプライズアンコール！】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>13. 青谷良明ほか[編]:各学校校歌</li> </ol>	公演時間:90分

リンク先	No.2	【公演団体名 名古屋フィルハーモニー交響楽団 】													
演目概要	<p><b>1. モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』序曲</b> これから楽しいコンサートが始まることを知らせてくれるようなワクワクする曲でコンサートの幕明け！ 児童・生徒の皆さんをオーケストラの世界へ一気に惹きつけます。</p>	<p><b>2. デンツァ: フニクリ・フニクラ</b> 「登山列車に乗ろう！」と歌われる人気イタリア歌曲を、日本語とイタリア語(原語)、2つの言語で演奏します。間近で聴くオペラ歌手の歌声に、感動すること間違いなし！</p>	<p><b>3. カジノユキ[編]: オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』</b> オーケストラを構成する各楽器を、日本の四季を代表する名曲「早春賦」、「われは海の子」、「紅葉」、「雪」のメロディに乗せて、メドレー形式でご紹介します。ナレーションも合わせて、目と耳の両方でお楽しみください。</p>	<p><b>4. 合唱共演(選択制)</b> どの学校でも音楽の授業をはじめ様々なシーンで合唱曲が歌われています。そんな愛唱されている合唱曲を、ピアノ伴奏ではなく、豪華オーケストラ伴奏と一緒に歌いましょう。プロの歌手と一緒に歌うことで、学校全体の合唱のレベルアップが期待できます。</p>	<p><b>5. オフフェンバック: 喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」(小学生対象ボディ・パーカッション)</b> 《天国と地獄》の「カンカン」で子供たちの身体そのものを楽器としたボディ・パーカッションを実施します。オペレッタの中でも出てくる踊りをモチーフにした名フィルオリジナルの振り付けで、オーケストラとの共演が実現します！</p>	<p><b>5a. ビゼー: 歌劇『カルメン』より「アラゴネーズ」(中学生対象ボディ・パーカッション) ※5a,5b選択</b> 2パートに分かれてタンブリンなどの楽器に合わせたボディ・パーカッションを実施します。スペイン独特のリズムを身体で感じて、オーケストラと一緒に《カルメン》の世界感を作り上げましょう！</p>	<p><b>5b. 吹奏楽部との共演 ※5a,5b選択</b> 吹奏楽部で普段から管・打楽器を演奏している生徒にとって、この体育館での演奏会はまた特別な時間となるでしょう。プロの奏者たちと並んで、オーケストラの名曲や、普段練習している吹奏楽曲と一緒に演奏できるチャンスです！</p>	<p><b>6. J. シュトラウスⅡ世: 喜歌劇『こうもり』より「シャンパンの歌」</b> 《こうもり》は、喜歌劇の中で最も人気のある作品のひとつ。豪華なパーティで競うように歌い合っ盛り上がる場面で演奏される「シャンパンの歌」をオペラ歌手の歌声と共に楽しみましょう。</p>	<p><b>7. カプア: オ・ソーレ・ミーオ</b> 世界中で歌われるカンツォーネの名曲で、イタリアをそのまま歌にしたような熱烈な愛の歌。オペラ歌手たちの熱い歌声で学校の体育館ごとイタリアへと誘います。</p>	<p><b>8. ブラームス: ハンガリー舞曲第5番</b> ロマに伝わる音楽を全21曲の曲集にまとめた大作曲家ブラームス。その中から、小気味良いリズムと変わるテンポで有名な「第5番」を用いて、オーケストラの指揮者体験をしていただきます。</p>	<p><b>9. ハーライン: 星に願いを</b> クラシック音楽だけでなく、映画音楽もお楽しみいただけます。映画『ピノキオ』の主題歌でもある「星に願いを」はディズニーを象徴する音楽のひとつ。オーケストラで聴く圧倒的な迫力と臨場感は別格です！</p>	<p><b>10. Jos. シュトラウス: ポルカ『憂いもなく』</b> クラシックでは珍しい“笑い声”が入るとも愉快な曲。本来は演奏者が笑いますが、今回はオペラ歌手が笑い声を担当します。オペラ歌手の本気の笑い声に、思わず笑顔になってしまうことでしょう。</p>	<p><b>11. 東海林修: 怪獣のパラード</b> 幅広い世代に愛される合唱曲を、豪華オーケストラ伴奏とオペラ歌手3人による重厚な男声合唱の響きでお贈りします。児童・生徒のみならず、先生等の大人にも聞いてもらいたい1曲です。</p>	<p><b>12. ホルスト: 組曲『惑星』より「木星」</b> “ジュピター”のタイトルでもおなじみの「木星」。巨大編成により学校公演での演奏が難しかった作品ですが、その魅力・迫力を損なわず、体育館でも演奏できるように、独自に編曲した版を使用します。</p>	<p><b>13. 青谷良明ほか[編]: 各校校歌</b> アンコールに用意しているのは、その学校に通う児童・生徒なら誰もが知っている《校歌》です。前奏を聴いて「おおっ」となることは間違い無し、通常歌っているピアノ伴奏とはひと味もふた味も違う、ゴージャスな管弦楽伴奏版です！</p>



音楽監督 川瀬賢太郎



音楽監督  
川瀬賢太郎

名誉音楽監督  
小泉 和裕

桂冠指揮者  
小林研一郎

名誉指揮者  
モーシェ・アツモン

名誉客演指揮者  
ティエリー・フィッシャー

コンサートマスター  
後藤 龍伸  
日比 浩一  
森岡 聡

首席客演コンサートマスター  
荒井 英治

特別客演コンサートマスター  
山本 友重

アシスタント・  
コンサートマスター  
矢口十詩子  
米田 誠一

ヴァイオリン  
小森 絹子 ◎  
(第2ヴァイオリン)  
瀬木 理央 ◎  
(第2ヴァイオリン)  
川上 裕司 ○  
(第2ヴァイオリン)

石渡 慶豊  
大竹 倫代  
小椋 幸恵  
尾高詩音里  
神戸 潤子  
小泉 悠  
合田 有里  
小玉 裕美  
酒井 愛里  
山洞 柚里  
田中 光  
中西 俊哉  
日高みつ子  
平田 愛  
松谷 阿咲

ヴィオラ  
石橋 直子 ◎  
叶澤 尚子 ◎  
今村 聡子 ○  
小林伊津子 ○  
池村 明子  
小泉 理子  
紫藤 祥子  
寺尾 洋子  
吉田 浩司

チェロ  
太田 一也 ◎  
アイリス・  
レグヅ◎  
酒泉 啓 ○  
佐藤 有沙 ○  
新井 康之  
小笠原恭史  
加藤 泰徳  
幸田 有哉

コントラバス  
上岡 翔 ◎  
佐渡谷綾子 ◎  
井上 裕介  
北島 明翔  
坂田 晃一  
永井 桜

フルート  
大久保成美 ◎  
富久田治彦 ◎

オーボエ  
竹生 桃  
寺島 陽介

クラリネット  
ロバート・  
ボルシヨス ◎  
浅井 崇子

ファゴット  
ゲオルギ・  
シャシコフ ◎  
田作 幸介 ◎  
三好 彩

ホルン  
安土 真弓 ◎  
猪俣 和也  
小坂 智美  
津守 隆宏

トランペット  
宮本 弦 ◎  
井葉野晃暢 ◎  
坂本 敦  
松田 優太

トロンボーン  
香川 慎二 ◎  
田中 宏史 ◎

テューバ  
林 裕人

ティンパニ&打楽器  
窪田 健志 ◎  
ジョエル・  
ビードリツキー ◎

菅生 知巳

◎ 首席  
○ 次席

インスペクター  
井葉野晃暢  
小泉 悠  
ライブラリアン  
後藤 成美  
林 仁志  
ステージ・マネージャー  
不破 孝浩